

2026年3月26日(木)に、第16回小規模交流勉強会を開催いたしました。

2026年3月26日(木)に、第16回小規模交流勉強会を開催しました。今回は特別企画第2弾、「斉藤理事と何でも放談会」を開催いたしました。予めテーマを決めないやり方で、プレゼンターは斉藤理事、会員10名が参加されました。たいへん熱量の高い「人生と経営」の勉強会となりました。

当社団理事の斉藤惇さんは、野村證券のご出身で、同社退任後に産業再生機構の社長、東京証券取引所の社長、日本プロ野球コミッショナーを歴任、日本を代表するリーダーです。経済界にとどまらない幅広いご経験について、熊本日日新聞連載の「生々流転～わたしを語る」において波瀾万丈の人生であったと振り返られていますが、これを踏まえて会員一人一人の質問に丁寧に答えられ、参加の皆さんは斉藤さんの生き様を心底感じる時間となりました。



【斉藤理事】



【勉強会の様子】

ました。

皆さんから次のような質問がありました。人間力に関する部分では「修羅場に遭遇した時の心の鍛錬は」「極度の緊張状態で何を信じて進むのか」「次々に公職を引き受けられる心構えとは」「リーダーとして最も心がけたことは」「本質の空とはどのようなものか」「経営を離れたご家庭ではどのように振る舞われていたか」。

経営の視点から「ダメになる企業の共通点とは」「投資家は企業の何処を見るのか」「再生できる企業のポイントは」「総論賛成各

論反対に対する取り組み方は」「役員の育成における秘訣は」などなど。

勉強会を終えて、「日本を代表する本物の経営者と間近に対話ができとても感動した」「経営に対する考え方には迫力と説得力があり多くを学べた」「生々流転の激動の人生に感動した」「空とは自分を空にするという教えに感嘆した」などの感想が寄せられました。

「縁とは天の導きでありそれに抗うことをしない人生を歩んできた。」と語られた言葉に、斉藤さんの生々流転の長い人生の年輪を垣間見ることが出来ました。「人生塞翁が馬」の極意の一片を少しでも学ぶことができたのではないかと思う次第です。

今回の参加者は東京以外の地域から6名の方に参加頂きました。遠方よりお越し下さり心より感謝いたします。また、参加の4社におかれては、プラチナ法人正会員、特別法人正会員の希望をお受けしており、皆さんのご期待にお応えできるよう対応して参ります。

最後に、小規模交流勉強会は、月2回ペースで開催している会員の新しい「交流と学びの場」として社団独自に進めている活動です。次回は4月10日に緊急企画で社団参与の茂木源人氏をプレゼンターにお招きし、中東情勢と日本企業の中長期戦略について学ぶ予定です。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。(永峯記)



【記念写真】